

学園だより

Vol.83

2008.3
Nara Women's
University



大学構内の桜満開(奈良女子大学メールマガジン-051-号より)

きたまちの地・水・火・風・空	1
田中 功	
現在・過去・未来をつなぐ	3
帰去来	森本 徹
生命誕生の源流を求めて	池原健二
酔歩四十年	榮永義之
退職挨拶	落合豊行
基礎科学から機能性科学への イノベーション	矢野重信
奈良女での10年間	古川昭雄
寄稿 私のチャレンジ	7
中岡純子・山名文果・中井久美子	
卒業生からの寄稿	10
書陵部に就職して……	豊田恵子
「夢の続き」……	中村奈歩
奈良女子大学と私……	榎崎久美子
就職内定状況(中間集計)	13
クラブ紹介	15
学生生活支援	18
第49回佐保会奨学金授与式 外国人留学生による日本語スピーチ大会 及び学長主催留学生懇親会 「廣岡奨学金」について 日本学生支援機構奨学金について 学生相談室から 学生表彰	

今回は、この奈良女子大学が位置する「奈良きたまち」といわれる界隈のことを学生の皆さんに少しでも知っていただきたいと考え、奈良街道まちづくり研究会の広報を担当されている田中功さんに研究会の活動をまじえて「きたまち」をご紹介いただきました。

きたまちの地・水・火・風・空

田中 功

奈良街道まちづくり研究会
広報担当より

ISAO
TANAKA

「奈良きたまち」は、地図のどこにも地名が出てきません。近鉄奈良駅の「北側の町」という意味と「喜びの多い町」とをかけて「奈良きたまち」と名付けました。

エリアは、近鉄奈良駅の北側で、北は奈良阪まで、東は二月堂あたりまで、西はやすらぎの道で囲まれた一帯を「きたまち」と称して、町に賑わいを取り戻し、子供たちが誇りを持って住み続けられる町へと再生させるため、一九九九年よりさまざまなボランティア活動を行い、足掛け九年になります。この九年の間に、子供たちは青年になり、研究会の仲間も確実に年齢を重ねましたが、同時に持続してきた分、着実に「きたまち」の認知度は上がり、発会当時夢であった奈良女子大学や自治会、地元商店街とのコラボレーションもでき、季節ごとのイベントとして新たに作り上げた「二月堂お水取り竹送り」や「幻燈会」、そして「佐保川清掃」など、多くの方々の協力をいただけるようになってきました。

さて、本題に移りましょう。

古代インドでは森羅万象の構成要素を（地・水・火・風・空）で表したといえます。「きたまち」の構成要素も（地・水・火・風・空）で紹介できます。

まず地から。

「きたまち」には無数の地蔵石像が道路の端に祀られてあるのを見ることが出来ます。称名寺の千体地蔵の縁起によれば、これらの地蔵は多門町にあった多聞山城の廃城跡に打ち捨てられてあったのを集めて祀ったとあります。町のあちこちに集められて祀られてある地蔵さんは同型のもので、佐保川から上げられたものが多く、川沿いに〇〇地蔵と名付けられて数体から数十体祀られてあります。地面からの目線で「きたまち」の盛衰を見つめてきました。



川久保町の地蔵尊

次に水は、奈良の街中にはあまり景観としては出てこない川が存在があります。佐保川です。かつては南都八景にうたわれた「佐保川の蛭」は居なくなりましたが、いまでも多くの水鳥やカワセミも時折飛んでいます。江戸時代には奈良晒を晒す姿が見られました。地蔵さんが今でも川底に沈んでいるかもしれません。今在家の「石橋」は本州では日本最古で最大の石橋です。東大寺大仏殿の再建時の大柱や梁も木津川からこの石橋の上を通り運ばれました。驚くべきことに免震構造になっていて、安政の大地震でも崩れませんでした。



今在家の「石橋」

現役で今も人や車が行き交いますが、古くからの石橋だということは知られていません。

火は言うまでもなく、千三百年続いてきた東大寺二月堂のお水取りです。籠松明用の大竹を山城地域から奈良街道を通って二月堂に運んでおられた方々を転書門の広場でおぜんざいの接待でお迎えるイベントを毎年二月十一日（祝）に開催しています。読者のみなさんもぜひ参加してください。

自分たちのまちづくりと同時に始まった「燈花会」もメジャーになりましたが自分たちの夏のささやかなイベント「幻燈会」も本年九回目を迎えます。

若草中学校の大階段に口ウソクの灯りで一晩だけ出現する「多聞山城」は地域の皆さんに支えられて「きたまち」の夏の風物詩となってきました。



若草中学校の幻燈会

風はStyle（様式・風）といひ、この「きたまち」に始まる技についてご紹介しましよつ。この「きたまち」にはいろいろな日本で一番のものがあります。奈良阪の一番北に奈良豆比古神社があります。そこで地元の人たちによって舞われる翁舞は能の原型と言われており、これが最

初の形です。先ほど干体地蔵で紹介した称名寺はむしろ茶の始祖といわれる村田珠光で有名です。さらに清酒は興福寺で造られた僧坊酒が最初のもので、これらを一日かけて饗されたのが究極のエンタテイメント本膳料理。もてなされた場所も日本で最初に天守閣が築かれた多聞山城でした。城主の松永久秀は兵農分離を初めて行った武将で、戦いのやり方を変え、部下も城下に住ませ、城下町もできました。城下町のあった多門町界隈は、江戸時代は奈良奉行所の与力の屋敷町になりました。

また、包永町むねながの地名にもあるように、刀鍛冶の技の技法は近年まで残りました。寄木細工、螺鈿らでんの名人の工房もあります。

最後に**空**。「きたまち」は天平時代より千三百年間の時間のなかで一度も途切れることなく人々が暮らした文化や産業を築き上げてきた稀有の地域です。天平時代の正倉院や転書門、江戸の農家様式を残している法連格子の家（女子大のすぐ北にあります）、明治の建物である女子大の記念館や少年刑務所の赤レンガの建物などなど。「きたまち」は歴史のモザイクと言っても過言ではありません。しかし、悲しいかな唯一戦国時代のピースが空白になっているのです。「風」でも述べた日本第一の文化が定着した時代がそっくり空になっているのです。信長に先んじた松永久秀は稀代の悪人とされていますが、一方で「茶道」や「能楽」も庇護した文化人でもありました。信長が築城した安土城は、多聞山城を参考にしたとされており、奇しくも平城遷都千三百年祭の二〇一〇年が、多聞山城築城四五〇年にあたります。我々奈良街道まちづくり研究会は、「きたまち」のシンボ

ルとして多聞山城の再建を目指しています。奈良女子大学も「きたまち」のエリアにあります。是非、きたまちの住人として、「空」の部分掘り起こしつつ、新たな「きたまち」の将来像を作り上げていきたいと思います。



多聞山城跡からの遠望

帰 去 来

森本 徹 理学部 教授
数学科 構造数学講座



TOHRU MORIMOTO

私は、大和に生まれ、東に三輪山、西に二上山を眺めて大きく育ちました。中学・高校と6年間奈良に通い、その後、京都に16年、フランスに2年、札幌に11年、そしてまた京都で7年過ごした後、再び奈良に戻り、1999年4月から2008年3月までの9年間この奈良女子大学で勤めました。そして今また田舎に帰ろうとしています。

奈良はやはり格別によばらしいところであるといくつく思います。例えば、奈良公園。世界には、パリのリュクサンブール公園、ワルシャワのワジエンキ公園、ニューヨークのセントラルパークなどいい公園がいろいろありますが、奈良公園に勝る公園を知りません。この公園を散策しながら数学を考え、語り、楽しむことができるのは、奈良にいる者の最高の贅

沢と、この地で数学の研究と教育に従事しえたことを大変嬉しく思っています。

Un mathématicien réfléchit sur une inconnue toute la nuit (数学者は未知数・未知のひとを一晚中思い巡らす)とからかわれたことがあります。私は怠惰な空想好き。大数学者ガウスは「私に人より優れているところがあるとすれば、それは勤勉さにおいてである」と恐ろしいことを言っています。しかし、凡人が数学をやるなら、なまぐらのほうがよいのではないかとさえ思っています。

この40年余り、リー群、幾何構造、微分方程式を巡って研究を続けてきました。多少まともと思える仕事ができるのは5年から10年に一度のこと。のんびりしたものです。それでも振り返ってみると、それぞれの所にささやかながら小高い私

の展望台ができてきています。こんなお山が10年といわず1年毎にでもできていれば、私も相当なものではないかと思うのですが、ものが熟するのにはやはりそれなりの時間がかかるのかもしれない。そしてなまぐらものだからこそそれを待つことができたかと思うことにしています。

最近、リー環の表現と微分方程式を結び付ける極めて単純な原理に気がきました。それを軸にして、リー群—幾何構造—微分方程式、そして一般論と具体例、それらが互いに関係し玉を打つように響きあい、私の数学の夢もまた急に大きく広がりました。

老後は竹林が果樹園でゆつくり酒を飲んで過ごしたいと思っていたのですが、この分だとまだしばらく数学を卒業できずにありません。

生命誕生の源流を求めて

池原 健一 理学部 教授
化学科 機能化学講座



KENJI IKEHARA

今から約30年前の5月1日(創立記念日)の朝、私は静かなたたずまいを見せる奈良女子大学の校門を初めてくぐった。

そして、15年ほど前に退官された菅江先生に元は学生実験室だったC棟4階北西隅の大きな研究室の一角に案内された。

窓越しに下を見ると、頭の鹿が草を食べ、やがてゆつくりと歩いて行くのが見えた。そして、この伝統のある静かな環境の奈

良女子大学で人真似ではない研究を行うのだとの決意を確かめていた。

その後は多くの先生方や多くの素晴らしい学生さん達との出会いを通じての奈良女子大学での研究と教育の生活が始まった。枯草菌の胞子形成開始の仕組みに関する研究から始まり、DNAとアミノ酸との特異的相互作用、そして、大腸菌SpaOタンパク質に関する研究などを経て、大学時代に芽生えた「生きる意味」を化学的に考えたいとの思いもあって、次第に生命の基本システムの成り立ちに関する研究へと変化していった。そして、

遺伝子が全く新たに生み出される自分なりの答えに出会ったことをきつかけに、遺伝暗号やタンパク質の起源に関する独自の考えを経て、生命は[Gly][Ala], Asp, Val]の4種のアミノ酸からなるGADVタンパク質ワールドから生まれたとのGADV仮説に到達した。こうして、人間を含む地球上のすべての生物は、奇跡的とも思える過程を経て誕生した共通の祖先である生命から生まれ、同じ基本システムのもとで共に生き続けてきた仲間なのだという深い思いに達することができた。

こうして30年が過ぎ定年を迎えた今、私が子供だった頃に、今は亡き母に諭すように教えられた言葉「人の振り見て我が振りなおせ」、「実るほど頭の垂れる稲穂かな」を実行できたのかについて思いを巡らしている。そして、学生さん達にも助けられながら母から教えられたもう一つの言葉「立つ鳥跡を濁さず」にしたがって、長年に亘って使用させてもらった研究室を片付けている。ありがとー奈良女子大学、そして、さようなら。

酔歩四十年

榮永 義之

理学部 教授
化学科 機能化学講座



YOSHUYUKI
BINAGA

University Swing を重ねて、本学

に落ち着いてから早くも十年近くが過ぎてしまい、こういうものを書くはめになりました。私は学生時代の十年から、大阪大学理学部、京都大学工学部、奈良女子大学理学部と大まかには十年毎に居場所を変えてきました。その間、研究領域は一貫して高分子溶液の物性でしたが、分野の自身は粘弾性(レオロジー)、相平衡の熱力学、高分子鎖の特性、高分子状ミセル溶液と変遷しました。大学と研究分野の両方の意味で千鳥足で歩んで来たことになりました。ちなみに題目に付けた酔歩(Random Walk)は高分子鎖の統計力学に現れる最も単

純な基本概念です。

大学生活で印象に残っていますのは、学生時代の終わりの方で経験した大学紛争と最近の大学改革です。どちらも大学を良い方向に動かさせたという気がします。特に化学の分野は紛争以来、長期低落の減衰曲線にしたがっているという思いがしてなりません。最近の大学のおかれている環境では、研究に経済問題あるいは損得勘定の面からの成果が問われるようになってきています。英国の物理学者フランクットは「科学とは国の費用で、科学者の好奇心を満たすことである」と言っていたそうですが、これは半分は冗談にしろ、半分は要点を指摘し

ているようです。化学もまた元来「精密、精緻に物事を探求する」という知的好奇心を満足させるということが本質的要素であるべきで、特に基礎分野は損得勘定からは程遠いところにあります。化学に夢を持つことができた「古き良き時代」の復活はそれこそ夢でしょうか。

最後に、これまで大過なく研究生活を送ることができ、少しは見るべき成果を得ることができたのは優秀な学生さんに恵まれたおかげであると感謝しています。この機会に本学でご指導、ご協力を賜った皆様に厚く御礼申し上げ、今後の皆様のますますの御発展をお祈りいたします。

退職挨拶

落合 豊行

理学部 教授
情報科学科 数値情報学講座MITSUYUKI
OCHIAI

1987年の夏、スペインの国際会議

で講演する準備に忙しくしていたとき、他大学の理学部長から奈良女子大学数学科への転籍を打診され一度は断ったが、サンワークステーションを自由に使用できるというので承諾した。その後、帰国してまもなく本学の承認が得られ、翌年1月に教授として着任した。本学のことについては、岡潔先生の在籍した大学であるというイメージしかなかった。

着任後の数ヶ月間は、女子学生だけを相手に授業をした経験がなかったので、いつも黒板ばかりをみて講義を行っていた。あの頃は女子学生がまぶしくていつも落ち着かない気分であった。何回目かの教授会で、国会の文教委員会で野党の国会議員が、税金で運営されている国立女子大学は憲法違反の疑いがあるとの見解を掲載した文教ニュースのコピーが配布された。そのことがきっかけで女子大学について少し考えるようになり、知人、同

僚達と意見を交換した。

知人・友人のほとんどは本学の女子大としての伝統をこれからも尊重して欲しいという意見であったように思う。

しかし、せめて大学院だけは男女共学にすべきであると、何人かの同僚は望んでいた。女子大学としての長い伝統をもつ本学は、立地環境に恵まれ、のんびりとしていて向学心を持たせるのに苦労することを厭わなければ、教えがいのある学生に恵まれている。国が大学院重点化政策を推進し始めたとき、本学も大学院を改組し、人間文化研究科が設置された。そのときのキーワードが「高度化と個性化」であった。

東京工業大学、大阪大学で男子学生のみを指導した経験から、本学のような伝統のある大学がいつまでも男子学生を受け入れないことは、資金と資源の無駄遣いであるとの思いもあり、全学将来構想委員会委員のときに、男女共学論をアピ

ールし運動した。その結果、男女共学に

関する全学意向調査が実施されたが、否定的意見が過半数であった。

その後、本学は独立行政法人となり、女子大学としての価値が再認識され当分は女子大としての体制がより強まったように思える。男女共学キャンペーン中、文学部教授と男女共学の是非について討論したが、その際相手の女子大に賭ける強烈な思いに感心し、共学化への嫌悪（恐怖）感に驚いた。ただ、本学が女子大として生き残るには、民営化されても体制を維持するとの強い意志が必要である。パトロンとしての国家ではなく、民間寄付金で運営できる体制に移行するには、運営交付金11%でも維持できる組織へのスリム化、寄付金・外部資金獲得組織の育成が望まれる。卒業生、退職者、民間人から気持ちよく寄付金を募る方策と努力を学長、理事の皆さんに望みたい。誰も自分が強く愛着を持つものには喜んでお金を投資する。

「基礎科学から機能性科学へのイノベーション」
“人生を楽しくアクティブに!”
“いつか晴れた青空!”、“やめないのが青春!”

矢野 重信

大学院人間文化研究科 教授
共生自然科学専攻 機能性物質科学専攻SHIGENOBU
YANO

私は、昭和47年3月に東北大学大学院理学研究科博士課程を修了し、理学博士の学位を取得、同年11月に東京大学工

学部合成化学科吉川貞雄教授の研究室に助手として着任、その後、錯体化学、生物無機化学の研究に携わり、東京大学工

学部講師、助教を経て、昭和63年9月に、本学理学部教授として赴任し、平成11年からは奈良女子大学大学院人間文

化研究科教授として、20年近く本学の研究・教育に携わってきました。

その間、溶液内の配位立体化学という錯体化学の基礎研究から始めて、世界に先駆けて配糖錯体の化学を開拓しました。特に、この10年来、我が国が世界に寄与するための重要な国策である科学技術創造立国日本への積極的な貢献をめざし、実学としての化学の重要性を痛感し、実用研究を展開してきました。表題の「基礎科学から機能性科学へのイノベーション」を念頭に、基礎化学としての錯体化学から機能性金属錯体を設計・合成する錯体工学という概念を同好の士とともに創出。平成3年には日本化学会「基礎錯体工学研究会」を設立しました。この錯体工学の概念のもとに、クリーンながん治療法

である光線力学療法用光増感剤、抗がん剤などの画期的な先端医療用無機有機ハイブリッド体の開発、さらには宇宙工学用感圧塗料の開発などを行ってきました。学生の教育、後進の研究者の指導育成の点においても、微力をつくしてきました。お陰で、卒業生も高校教員、企業の研究員あるいは大学の助教等に採用され、元気に活躍しています。

学内運営においては、平成13年度より共生科学研究センター教授を併任、平成14年度から15年度にかけて評議員、平成16年度から18年度にわたっては大学院人間文化研究科長として大学の運営に携わる機会を得ました。この間、理学部以外の魅力的な先生方とも親しく知り合う貴重な経験を得たことは、大学人ならではの交友の広がりであり、今後の大きな知的財産となると確信しています。これまでの研究教育生活の中で、日頃私は次のようなモットーをいだいてきました。

「人生を楽しくアクティブに!」「いつか晴れた青空!」「やめないのが青春!」

幸い健康にも恵まれ、無事退職の日を迎えることができそうです。これも、ひとえに皆様方の暖かいご支援の賜物と心から感謝しております。

最後になりましたが、大学院の重点化・専任教員化、そして定年延長ならびに男子大学院生の受け入れは本学の発展のための必須のアイテムであるということをしり上げ、奈良女子大学の益々の発展を祈念して筆を置かせていただきます。

奈良女での10年間

古川 昭雄

共生科学研究センター長 教授



AKIO
FURUKAWA

平成九年十月に国立環境研究所から赴任しましたが、十年一日のごとくに時が過ぎ、平成二十年三月をもって退職しました。この間、何をされたのか。振り返ってみても、雑務に追われて時間が過ぎていくばかりだったと感じています。研究費も給料も大幅に減額になるのを承知で赴任したのは、時間をお金で買おうと思っただからです。しかし、この短い期間に学

科長なるものを二回もやる羽目になり、自分の研究が犠牲になったことが痛かった。定年前の三年間は共生科学研究センター長を勤め、小中学生相手の野外実習等々の地域貢献にも成果を挙げることができましたが、これも自分の研究に費やせる時間を減らすことになったのは否めません。しかし、定年を目の前にした平成十八年から、生物学の常識を覆しそうな研究に没頭し、面白い結果が得られたのは救いでした。十年間、有り難う御座いました。それにしても大変だった。さようなら。



定年前に熟成した研究対象のグンバイヒルガオ。沖縄屋我地島にて。(鎌倉真依氏撮影)

境界を見つめ続ける日々

JUNKO
NAKAOKA

中岡 純子

大学院人間文化研究科 博士前期課程
人間行動科学専攻 一回生

「心理学という場に身を置いて、私は様々な境界を見つめ、また時にそれらと格闘しながら、日々を過ごしている様に思います。」

「なにが『普通』と、誰が決めるのか？ 私たちの力の及ぶ範囲は一体どこまで、どこから先は『絶対的』な領域なのか？ また、その選択不可能な現実を、私たちはどう受け止めて生き続け得るのか…。そんな問いを抱えながら、本学では学部時代に引き続き、性暴力被害からのサバイブ^{*}についての研究を行っています。」

自身の選択によらない過酷な現実を引き受けながら、その後のそれぞれの人生を主体的に生きるサバイバー達。

そこに表出する心身症状にはかり関心を寄せてきた従来の心理学研究に疑問を持った私は、ある生き方のかたちとして、サバイバー達の辿った軌跡を包括的に捉えてみたいと思いました。インタビュースを通して、彼らのナマの声を手掛かりにその「生^ま」を映し出すこと。科学研究において重要視される「客観的妥当性」との葛藤を覚悟の上、この場所でもそやり遂げたかったことです。なぜなら人は、日

常を生き続けねばならないから。そして「専門家」の中には、そんな当たり前のことを忘れて人に向き合おうとする人が、少なからずいるから。

病を持つ者としてではなく一生活者として彼らを見ることは、加害者個人の直接的な行為のみならず、社会全体が内包している無知や誤解という名の暴力の横行を浮き彫りにする^{こと}でもあります。「正しい当たり前」の為に、見直されるべき境界線が、きつとある。そこに向けて、今此処^{こゝ}で、小さな私が、できること。したいこと。すべきこと。その挑戦に使えるような武器を見極めること、そしてそれを研ぎ澄ますこと。

サバイバー達は様々な表現を通して“over again”の為に動きかけています。私もまた、その一人です。そのツールとして私が選んだものが学術でした。はかり易くも見え易くもないものをデータに、提言力の高い研究を打ち出すという試み。随分まわり道をしたようにも思いますが、2年という留年期間を経て執筆した卒業論文は、この夏に開催された質的心理学

会で公に目の目を見、「現場」の方々から高い関心をお寄せ頂きました。水面下の小さな一歩が、可視的な小さな一歩となった瞬間だったと思います。

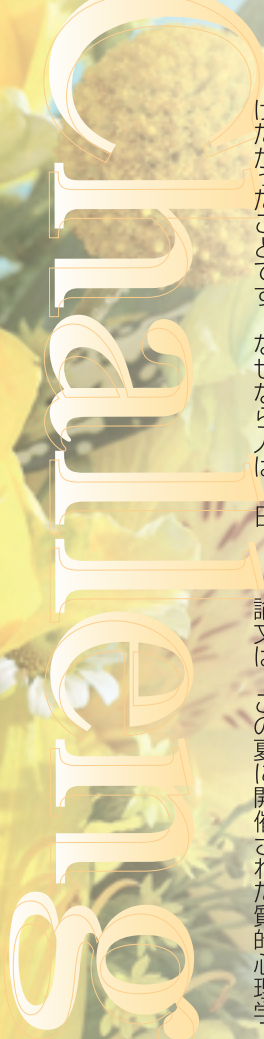
このように負のエネルギーをプラスに転換し続けるパワーの源は、周囲の人々との人間的な関わり合い以外の何ものでもありません。素晴らしいパートナーや家族に囲まれながら活動を続けるサバイバー達との私的な交流、指導教員の深い懐と温かみ、これまで私の深淵に関わってくれた全ての人の体温と世界の共有感、そして両親からの絶え間ない愛情。

たくさんのお出逢いに支えられながら、「諦めなくてもよいこと」の領域がほんの少しでも押し広げられることを願って、私は今日も此処に居続けます。

結局私は、挑戦し闘うことで、自身を救済しているのかも知れません。

* survive (生還) … 生死の境をさまよう程の苦しみのもととなった事態や被害以後、現在までの過程。

survivor (生還者) … 過酷な状況を生き延びた人々に対する、敬意を込めた呼称。



挑戦は始まったばかり

AYAKA
YAMANA

山名 文果

理学部 生物科学科 1 回生

2007年11月4日、第6回舞踊部恋都祭公演が幕を閉じた。今年の舞踊劇「ピーターパン」は、すべての舞踊部員が、心から楽しんで踊り、演じる舞台をお客様に見てもらえたのではないだろうか。私たちの力を出し切り、完全燃焼した舞台であった。



恋都祭公演 舞踊劇「ピーターパン」
ピーターパンと海賊たちの戦いの後、ピーターパンたちの勝利のポーズ

しかし、この日を向かえるまでの道のりは決して簡単なものではなかった。まず、私は人生初めての振り付けを割り当てられた。振り付けをしなくてはならないと分かっていた。いつもの、「いつにやってきましたか」と思った。大学に入るまで、特にダンスの経験がない私である。どこからどうとりかれば良いのだろうか…。といきなり壁にぶち当たってしまった。なんとなく頭に思い描いているイメージはあるのだが、それを曲に合わせて形にするまでに悪戦苦闘し、参考になりそうなダンスを数多く見て研究しては、「ああでもない、

こうでもない」と試行錯誤を繰り返す日々が続いた。

やっとのことで、振り付けを考え終えた私を待っていたのは振り写しであった。今までは振りを教わる立場にしかいなかった。ので、いざ教えようとしても、どのように教えれば上手く伝わるだろうかと悩んだ。先輩方が私たちにやってきてくれたように教えてみても、何かがしっくりいかない。上手く伝えられない自分に腹が立ち、悔しくて涙してしまふこともあったが、そんな時には先輩方や同期に相談すると少し気持ちが軽くなった。私は経験者の部員や先輩に、振りを変だと思われているのではないかと、周りのことばかりが気になって自分の振りに自信を持つことができていなかった。けれども、部員に相談したことにより、教える側がこのようでは教わる側は不安に思うばかりだ。もつと自分に自信を持つようと思ふことができた。

今年入部した1回生は、自主的に練習し、1回生同士で教え合うなど、本当に頑張ってくれた。OGの先輩方は忙しい時間を割いて練習の指導に来てくださり、時に厳しく指導していただいた。しかし、そのおかげで気持ちが引き締まり、本番

を良い雰囲気で行うことができたと思う。そして、3回生の先輩方は、全力で私たちを引っ張ってくれた。改めて、舞踊部に入部し、すばらしい舞踊部員に出会えたことに心から感謝した。そして、いろいろな人に支えて頂いているということを実感した恋都祭公演であった。舞台で踊ることは緊張する。けれども、ライトを浴びて踊ることはそれ以上に楽しい。そして、お客様から拍手をいただいたりすると、今までの苦労などが吹き飛んでしまふ。



恋都祭公演 小作品集
一回生学年の踊り「功名が辻」より

恋都祭公演が終わると同時に、3回生の先輩方が引退され、私たちが中心となった、新生舞踊部の活動が始まったが、このような踊ることの楽しさを来年の新入生にも伝えられるよう、私たちの挑戦は始まっている。信頼できる同期、頼もしい1回生と共に良い舞台を作るために、常に走り続けた。

Always Positive thinking

中井 久美子

大学院人間文化研究科 博士後期課程
共生自然科学専攻 二回生

わたくしは縁あって4年前50歳で「花の女子大学院生」となった。周囲からは「更年期障害防止？冥土の土産？」と冷やかに訝しがられて。

当時、管理栄養士として専門学校講師をする傍ら国際交流ボランティアや料理講師を多発所で楽しく遂行しながらも、エネルギーが余りモヤモヤしていた。そんな時、現在の指導教員と出会い、Health Promotionを学ぶ事となったのだ。

受講した全授業が新鮮で刺激的で夢中になった。半世紀の人生経験を持って学ぶという事は非常に効率がいいと感じた。その時点では値打ちがわからず無駄だ無意味だつまらないと思っていた事が、全て自分の糧になっていた。人は自分と同じ考えの人と出会うと安心するが、考え方やものの見方が違う人と出会った時こそ自分の世界が広がるのだと思った。

振り返ると…大学卒業後、何気なく結婚・退職・出産、配偶者の転勤で活気溢れるエキソチックな香港で遊び暮らし、帰国してみれば社会から遠く離れた退屈な主婦になっていた。「どんな時でも少しでもいいから社会に関わって生き生きしていよう」と思っていたのに。でも管理栄養士資格のおかげで講師の職を得て教鞭をとりつつ、製菓衛生師の資格も取得した。

並行して、世界各国の学生に日本の家庭料理を教え、彼らからレストランでは決して味わえないcuisineならではの家庭料理を教わり楽しい国際交流も続けた。その国を知る事はその国の食べ物を摂る事、食べ物は気候風土・国民の気質や味の好み・美的センス・生活様式など様々なものを反映する。正に料理は文化である。だからこそ彼ら在寧外国人に「日本人が尊重する味umami」を伝えたく、出汁を丁寧にとり、彩り豊かな旬の食材・米・魚・発酵食品等々日本の食文化を伝える努力をした。



自宅でのお料理教室

二年前、修士修了と同時に佐保短大講師となり、次世代を担う夢一杯の学生達に「調理は偉いもの、料理として仕上げるまでの時間とエネルギーに比し、食べるのはほんの一瞬、口に入ればグチャグチャに

並行して、世界各国の学生に日本の家庭料理を教え、彼らからレストランでは決して味わえないcuisineならではの家庭料理を教わり楽しい国際交流も続けた。その国を知る事はその国の食べ物を摂る事、食べ物は気候風土・国民の気質や味の好み・美的センス・生活様式など様々なものを反映する。正に料理は文化である。だからこそ彼ら在寧外国人に「日本人が尊重する味umami」を伝えたく、出汁を丁寧にとり、彩り豊かな旬の食材・米・魚・発酵食品等々日本の食文化を伝える努力をした。



佐保短大調理実習

なる、でも体だけでなく心の栄養になるからこそ料理人やママは頑張れる、時間と手間をいとわず心を込めて作った料理は最高の作品に仕上がる。」と熱く伝えている。

という訳で現在の私は、大学院生であり、教員の助手であり、短大講師であり、国際交流ボランティアであり、そして一応妻であり、27歳と20歳の娘の母親でもある。個々の点数は低だろうが合計したら凄い得点（笑）、少なくとも何かを始めるのに遅いという事はないという見本にはなつたかもしれない。この先も「世界の家庭料理とお菓子」をライフワークに、大学院で学んだ知識を活かし、更なるチャレンジをして輝いていたい。チャレンジに失敗しても現状維持、上手くいけばプラスαになると考えて。

最後に、私の宝物である娘たち、奈良女子大・佐保短大の学生さんたち、そのピチピチはち切れんばかりの若さが眩しく羨ましく、輝く未来に心からエールを送りたい。夢や希望がわからなければそれは手に入らないが、夢やビジョンに制限は無い、限定は否定、可能性を信じ精一杯の生き方をして欲しい！

KUMIKO
NAKAI

Challenge

書陵部に就職して

豊田 恵子

大学院人間文化研究科 博士課程
比較文化学専攻 平成十七年度満期退学
宮内庁書陵部

東京メトロ東西線竹橋駅から歩いて10分、皇居の敷地の一角に、私が勤務する書陵部がある。書陵部は宮内庁の一部局であり、その名が示すとおり、書物と天皇代々の陵墓に関わる業務を行っている。書物は天皇家に伝来したもので九條家などの公家が所持していた由緒正しいものばかりで、そのほとんどが研究者などの閲覧に供されている。しかし、一部、未だ目録に登録されず、公開されていない未整理の書物がある。それらを調査・整理し、目録に登録することが、私の主な仕事である。

目下取り組んでいることは、桂離宮で有名な四親王家の一つ、桂宮家に伝来した文書を調査・整理することだ。在学時に、室町期の和歌文学を専攻した私にとって、古今伝授で有名な智仁親王以下諸親王の文書に触れることは、本当に願ってもいない仕事である。調査と一口に言っても様々で、誰もが分かる『古今集』といった書物から、書状の類まで全て担当しなければならぬ。現在、桂宮家に宛てられた書状を調査しているのだが、まず、どのような内容が書かれているのかを翻刻・解読することから始まり、そこから、誰がどの宮様に宛てたものなのか、また、いつ頃のものなのか、何の目的があったかの書状が、などといったことを調査し

ている。しかし、当然、筆跡はそれぞれの個性が表れており、容易に読めるものからそうでないものまであるので、本当に毎日が勉強である。そして、調査内容をカードに書き起こし、書名を付けて目録に登録し、研究者などが閲覧出来るようにするまでが一通りの流れである。



調査対象の一部

古文書の類を扱うには、相当の訓練が必要であるが、入庁してすぐにこのような仕事に携わらせていただけなのは、やはり、母校奈良女子大学で学んだからに他ならない。この仕事にまず必要とされる翻刻・解読は、在学中に取り組んでいたことであり、また、書籍・文書の扱いも、日頃、指導教員である大谷俊太先生にお供させていただいた文庫などの調査で学んだものである。在学時には、慣れない翻刻や書物の扱いに大変苦しんだものだが、今となっ

KEIKO
TOYODA

ては、その一つ一つが全て財産となっている。困った時、悩んだ時は、先生がこのような状況ではどうなされたか、それらを思い起こしながら仕事に向き合っている。迷いが生じたときに、その状況を打開できる確固たる指針を持つてることがどれほど有難いことか、毎日、身を以って感じている。これからも多くの難題に直面するであろうが、私の中に奈良女子大学で築いた揺らがない基盤がある限り、自信を持って立ち向かって行けるものと信じている。



「夢の続き」

中村 奈歩

大学院人間文化研究科 博士前期過程
数学専攻 平成十七年度修了
一宮市立萩原中学校NAHO
NAKAMURA

古都奈良での生活は、数々の新しい出会いの始まりであった。新しい学び舎、新しい先生方、新しい仲間、新しいスポーツ、そして、新しい自分。だが、たった一つ、変わらないものがあつた。それは、「教師になる。」という夢である。変わらないうころか、この夢が実現に向かって日に日に膨らんでいくのを感じた。

奈良女子大学での生活が、夢へ続く道であるとも感じていた。今、こうして教師として充実した毎日を過ごせているのも、あの時、あの場所であつたはずでの人のおかげである。いつも支えてくださった先生方、



修士論文発表後院生の仲間と

未来への希望を語り合い励ましあつた仲間、幼い頃からの私の夢をずっと応援してくれた家族に感謝したい。

私が教師になろうとした理由は、とても些細なこともかもしれない。私は、学校という場が大好きだったのだ。それは幼い頃から変わらなかつた。一度にこんなにたくさんの人と出会い、こんなにたくさんの人々と共に泣いたり、共に笑つたりできる場所は学校しかないと思つていた。

その学校という場で、泣いて笑つて成長していく子どもたちを、今度は自分が支援してやれば…。そんな小さな思いが、いつの間にか大きな夢へと変わつていった。そして、今の私を動かしているのだ。たくさん子どもたちの笑顔の中で、働く喜びを感じている。

数多く見てきた生徒たちの笑顔の中で、最も忘れることができない笑顔がある。部活動の大会中に見せてくれた笑顔である。いつもある一つのプレイができない生徒がいた。練習試合で失敗して落ち込んでいたが、大会前の練習で何度も何度も同じプレイを練習した。始めは嫌々だった彼女であつたが、周囲からの言葉かけにも励まされ、徐々にその目に真剣さが生まれた。そして、大会当日、何と彼女は試合でそのプレイを決めることができたのだ。あの時見た彼女の素晴らしい笑顔は、今も決して忘れることはない。そして、あの時、私自身が何とも言えない気持ちで満たされたことを今も鮮明に覚えていて。教師という仕事のやりがいは、ここにあるのだ。このために教師になつたのだ。と実感した瞬間でもあつた。そして同時に、一人でも多くの生徒にこの達成感と充実感を味わわせてやりたいという思いを持った。生徒の様子をじっくりと見ていると、様々な場面で真剣な眼差しを見せてくれる。悔しがったり、喜

んだりする姿を見せてくれる。そんな一生懸命に頑張る生徒たちの姿を見ると、涙が出そうになるくらい応援してやりたくなる。それが私の一生を懸ける仕事なのだ。

学生のみなさんの中には、教師になろうという夢を持っている方が多くいらっしゃると思います。どこぞ、夢を持つ自分を誇ってください。どうぞ、夢を持った自分を裏切ることのないよう努力してください。そして、その大きな夢を叶えてください。この瞬間も、どこかで子どもたちが、あなたとの出合いを待っています。

夢を叶えたように思われるかもしれないが、私にはまだ夢の続きがある。今はまだ夢の途中にいる。



謝恩会にて。恩師小磯先生・研究室の後輩と

奈良女子大学と私

榎崎 久美子

大学院人間文化研究科 博士前期課程
生活文化学専攻 平成十五年修了
広島女学院大学 生活科学部
生活学ゼイン・情報学科 専任講師



KUMIKO
NARAZAKI

ちょうど十年前に私は生まれ故郷である広島を離れ、古都奈良に足を踏み入れました。当時、進学するための勉強で一生懸命だった私は、実際に大学に入ってからどのように過ごすかは全くといっていいほど考えていませんでした。入ってしまえば終わり、となぜか思っていたのです。ですから、家族と一緒に入寮手続を終えて、家族が車で去っていくのを見て、どうして自分はこんなところに置いていかれたのだ？と呆然としていました。

しかし、実際に学生生活が始まってみれば、親元から離れた寂しさはありつつも、初めて触れる専門的な学問や学内・学外を問わず知り合った様々な友人との親交によって、私は充実した日々を送るようになりました。

私の所属した生活環境学部人間環境学科生活文化学専攻では、ジェンダーや家族社会学・社会福祉学・歴史景観文化学・社会史学など色々な分野について広く学ぶことができました。日常生活に密着し、応用のきく学問分野が多かったため、どの授業も大変興味深く、色々な知識を習得でき、幅広い視野を持つためのきっかけになったように思います。そして特に服飾史学に興味のあった私は三回生から岩崎雅美教授のゼミに入り、被服構成や技法・素材だけでなく、史学的・

考古的・社会的・文化的な服飾へのアプローチの方法を学ぶことになりました。



卒業研究のきっかけになった我が家の雛人形

専門知識をさらに得たいと大学院博士前期課程に進学した私は、明るく、闊達な岩崎教授に引き続き指導をしていただきました。新しいことをどんどん取り入れ、チャレンジ精神が旺盛で、しかし気遣いを決して忘れない岩崎教授は、私にとって入学したときから憧れであり、目標でもある女性です。そんなすばらしい方に出会えた奈良女子大学での毎日は本当に貴重であり、現在の私の基盤ともなる経験でした。

また、私は学部の四年間を学生寮で過ごしました。もちろん、初めての共同生活に戸惑いもありました。現在の学生寮はすべて一人部屋になったように聞いていますが、当時は学年違いの四人部屋だっ

たのです。性格も生活、ペースも異なる人間が、お互いに融通を利かせながら生活をしたあの日々も忘れたい体験といえるでしょう。今では珍しいとされる共同生活ですが、そういった生活だからこそ、自己責任と気遣いと感謝の気持ちで自然に育まれていったように思います。そして、卒業してからもお互いを思いやり、励ましあうことのできる友人の存在は何よりの宝物です。

そして現在、ご縁があつて、広島女学院大学で教鞭を執る身となりました。十年前、大学の正門を前に将来の希望どころか、大学生活さえどのようになるかわからず呆然と立っていた私が、奈良女子大学を通して多くの方からのご支援・ご指導の下、ここへ導かれたのだと感謝の気持ちでいっぱいです。今、自身の研究に専念できる喜びは並々ならぬものがあり、研鑽に励んでおります。同時に、目の前にいる学生たちが自分と同じようにたくさんのことを学び、また様々な人との素晴らしい出会いを得、自らを成長させ、大学生活を楽しむことのできる一端を担うことができれば、と思い日々教室で奮闘している次第です。

就職内定状況(中間集計)

今年の就職環境は「売り手市場」と各報道から報じられていますが、実は企業各社の選考基準は下げず、無理をしてまで数を追いかけるという採用スタンスではありません。あくまでも一定の基準を保ちながら、一人でも多くよりよい人材を獲得したいということには変わりません。人物重視の選考は、一般企業・公務員・教員などの区別なく重要視されています。簡単に表現すると『コミュニケーションが取り、主体的に自分の意見を持って行動できる人材』が求められています。

大手企業志向の学生が増える中、就職活動の環境がよくなっているという錯覚に囚われて就職に対する準備不足や人気の企業ばかりを狙った活動の結果、内定を獲得できなかったということがないようにしたいものです。あこがれや思い込みだけで就職先を決めず、「自分のこの能力を使って、この職場でこんな仕事をやりたい」ということを明確にし、ミスマッチの無い就職先を選択してください。

以下は、平成19年度卒業・修了予定者の平成19年11月30日現在の就職内定状況(中間集計)です。

平成19年度卒業・修了予定者の産業別就職内定先企業名一覧

【学部】

()内は、複数内定者の人数

産業分類	学部	文 学 部	理 学 部	生 活 環 境 学 部
建設業		アサヒハウス工業		住友不動産リフォーム
製 造 業	食料品・飲料 たばこ・飼料	エーデルワイス 山崎製パン		赤城乳業、伊藤ハム、香月堂、キリンビバレッジ、神戸屋 タマノイ酢、日本食研、日本ミルクコミュニティ、ネスレ日本 フジパンググループ本社、明治製菓、ミヨシ油脂、モロゾフ
	繊維工業・衣服・その他繊維製品	グンゼ		
	印刷・出版・同関連業		凸版印刷、大日本印刷(2)	石田大成社
	化学工業・石油・石炭	アストラゼネカ	アストラゼネカ、協和発酵工業、十全化学、東洋ビューティ 日本エア・リキード、和光純薬工業	廣貴堂、参天製薬、千寿製薬 全業工業、ライオン
	鉄鋼業・非鉄金属 金属製品	日東工器		尾池工業、神戸製鋼所、三協・立山ホールディングス 長府製作所、ノーリツ
	一般機械器具	MSTコーポレーション、三菱重工	富士ゼロックス、ミネベア、センマー	タカラベルモント、森精機製作所
	電気・情報通信機械器具		シャープ、日本電気(2)、日立製作所、マイコム、三菱電機	
	電子部品・デバイス	出雲村田製作所	京セラ、コーセル	
	輸送用機械器具		マツダ、ヤマハ発動機	トヨタ自動車、トヨタ紡織
	精密機械器具 その他		高園産業 INAX	興和紡績 光洋、ミズノ、ヤマハリビングテック(3)
電気・ガス・熱供給・水道業			関西電力	
情 報 通 信 業 (通信・マスコミ・情報処理)	NECシステムテクノロジー 尚文出版 新学社 新日鉄ソリューションズ トランスコスモス ドリーム・ワークス 日本アイ・ピー・エム(2) 日本総合研究所	ウイルコム、NECシステムテクノロジー エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(2) エヌ・ティ・ティ・データ関西、エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海 サイボウズ、ソラン、TIS(2)、デンソーアイセム 奈良テレビ放送、日本コンピューター・システム ノバシステム、富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ 富士ソフト、富士通関西システムズ 明治安田システム・テクノロジー	オフィス・トゥー・ワン 西日本電信電話 富士通関西システムズ フューチャ技研 ユーフィット	
	運輸業	アクティフタバ		JALスカイ関西、全日本空輸、西日本旅客鉄道
	卸売・小売業	卸売業 朝日電器、内原、CBC、八洲薬品 リテイルネットワーク	大塚商会、オンワード樺山、グリーンホスピタルサプライ 阪和興業、ルシアン	ヴェクセル、極洋、興和、仙田、トランス、ムーンバット 卑弥呼、和光
		小売業 市民生活協同組合ならコープ セントラルフルーツ	赤塚植物園 奈良OAシステム	青山商事、赤塚植物園、EH、イズミヤ、大塚家具、カーマ 近鉄百貨店、セシール、千趣会、西松屋チェーン 阪急百貨店、福井県民生活協同組合、藤久、ユニクロ ロック・フィールド
	金 融 ・ 保 険 業	金融業 伊予銀行、愛媛銀行、大垣共立銀行、関西アーバン銀行 南都銀行、新潟県信用農業協同組合連合会、野村證券 三井住友カード、ゆうちょ銀行	大阪市信用金庫、近畿産業信用組合、名古屋銀行 南都銀行(2)、日本銀行	大垣共立銀行、京都中央信用金庫(2)、富山銀行 富山第一銀行、日興コーディアル証券、みずほ銀行
		保険業 第一生命保険相互会社、東京海上日動火災保険 日本生命保険相互会社、ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング		住友生命保険相互会社、損害保険ジャパン 日本生命保険相互会社

【学部】

()内は、複数内定者の人数

産業分類	学部	文 学 部	理 学 部	生 活 環 境 学 部
不 動 産 業				ダイワサービス、パレックス、イオンモール
飲 食 店 ・ 宿 泊 業		リゾートトラスト、ロイヤルホテル		ニュースカイホテル、リゾートトラスト、ロイヤルホテル
福医 医療業・保健衛生			イービーエス、東洋環境分析センター	
社療 社会保険・社会福祉・介護事業				全国土木建築国民健康保険組合
学教 学 校 教 育		学校法人就実学園		京都大学
習習 学 校 教 育		アップ、三幸グループ	EISU、さなる(2)、大志、ヒューマン・ブレーン	
サ サービス業	そ の 他	ANAエアサービス東京、内山鑑定事務所 SMBCセンターサービス、クレオ サントリーパブリシティサービス(2)、シーエムアイ 住信ビジネスサービス、日本コスモトピア、 姫路商工会議所、ミキハウス	さつき動物病院 セコム	ASKPLANNINGCENTER、ABC開発 国際確認検査センター、JALナビア大阪 消費科学研究所、タケツ、日本食品分析センター(3) 阪急デザインシステムズ、パソナキャリア 不二ビユーティ、ベネフィット・ワン(2)
公 国 家 公 務 員			大阪国税局	
務 地 方 公 務 員		奈良県庁、静岡市役所、刈谷市役所、尼崎市役所 長野県警察本部、奈良県警察本部	福井県庁、奈良県庁、橿原市役所 愛知県警察本部	奈良県庁(2)、富山市役所 名古屋市役所、高知市役所
教 員		愛知県教育委員会、大阪府教育委員会、奈良県教育委員会	和歌山県教育委員会、名古屋市教育委員会	大阪府教育委員会

【大学院】

()内は、複数内定者の人数

産業分類	専 攻	国 際 社 会 文 化 学 言 語 文 化 学 人 間 行 動 科 学	数 学 物 理 科 学 化 学 生 物 科 学 情 報 科 学	生 活 環 境 学 人 間 環 境 学
建 設 業			日立電子サービス	木下工務店、鴻池組、住友不動産リフォーム 大和ハウス工業(2)、富士ハウス
製 造 業	食料品・飲料・たばこ・飼料		日本ハム惣菜、ブンセン	大塚食品、J-オイルミルズ
	印刷・同関連業		凸版印刷	
	化学工業・石油・石炭		三洋化成工業、大洋薬品工業、富士フィルム(2)、ライオン	佐藤薬品工業、サラヤ、帝人
	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品		住友電気工業	リンナイ
	一般機械器具		イデヤ、京セラミタ(2)	ダイキン工業
	電気・情報通信		シャープ、東芝(4)、日本ビュレット・パッカー	シスメックス
	機械器具		日立製作所(2)、富士通(2)、三菱電機(5)	大光電機
	電子部品・デバイス		京セラ	
輸 送 業	輸送用機械器具		日産自動車	豊田自動織機
	精密機械器具		ジェイ・エム・エス、島津製作所	
そ の 他			永大産業	
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業			中国電力	
情 報 通 信 業 (通信・マスコミ・情報処理)	講談社 ジェイイス、Z会 日本テレビ放送網		NECシステムテクノロジー、キャノンソフト情報システム JR西日本ITソリューションズ、ソフトサービス、東京書籍、日本総合研究所 三菱スペース・ソフトウェア、三菱電機メカトロニクスソフトウェア	スミリンCADシステムズ TIS 西日本電信電話
運 輸 業			アジア航測	
小 卸 売 業	卸 売 業		日本紙パルプ商事	ケニス、三基商事、シンコー
保 險 業	小 売 業			とうじ、ユザワヤ
融 資 業	金 融 業			
不 動 産 業	保 険 業		三井住友海上きらめき生命保険	
医 療 業	医 療 業 ・ 保 健 衛 生			エヌ・ティ・ティ都市開発
社 会 福 祉 業	社 会 保 険 ・ 社 会 福 祉 ・ 介 護 事 業			いちごの会
学 校 教 育	学 校 教 育	豊島岡女子学園中学校	東筑紫学園高等学校・照曜館中学校	
習 習 事 業	そ の 他 の 教 育 ・ 学 習 支 援 事 業			
サ サービス業	法 務	クローバー法律事務所		
	そ の 他	JTBワールドパケーションズ	消費科学研究所、日本食品分析センター、ワールドインテック	INA新建築研究所
公 務 員	国 家 公 務 員			
	地 方 公 務 員	芦屋市役所	大阪府警察本部	
	教 員	京都府教育委員会、大阪府教育委員会		

体育系

■ソフトテニス部

①12人②月・木16:30～、土13:00～学内テニスコート③月500円④いつも楽しく元気に練習しています！面白いコーチが丁寧に指導してくれるのでくぐん上達できます。楽しい部員と一緒にソフトテニスを楽しめますか？経験者も初心者も是非見学に来てください！

■硬式テニス部

①21人②火・水16:30～、土9:00～12:00(日9:30～15:00)③入部金1,000円、部費1,000円④硬式テニス部では大学から始めようという初心者の方も、経験者の方も関係なくテニスを楽しめます。昨年の近国ではちゃっかり初優勝しました。いえーい！みんな仲良しでとっても楽しいです。
♡是非一度コートまで♡待っています♡

■卓球部

①6人②水・金16時半～、土13時～③前後期各500円④「卓球が好き」という大きな共通点を持った私たち卓球部は、いつも愉快地に、しかし誰もが真剣に部活に取り組んでいます。経験者、初心者問わず大歓迎♪ぜひ一度卓球部に来てみてください。お待ちしております♪

■サッカー部

①7人②水曜16時半～土曜13時半～③月500円④私達は部員がとても少ないですが、サッカーをこよなく愛する人達のネットワークを通じて、様々な場所でサッカーやフットサルを楽しんでいます。いつでも新入部員募集中・初心者も大歓迎です！

■合気道部

①28人②毎週火・木曜17時半～第二体育館、金曜18時15分～鴻ノ池道場にて③月1,600円(オフの月は無し)④合気道は、体1つで出来る武道です。運動未経験者でも、全く問題ありません!!興味があっても始められなかった武道(護身術)を、貴女もやってみませんか!?

■なぎなた部

①8人②火・木16:30～、土9:30～③月500円④私たちがなぎなた部は皆で仲良く活動しています。部員の半数以上が大学から始めた初心者ですが、卒業までに二段をとれます！興味のある方は是非見に来てください☆一緒に楽しい大学生活を送りましょう!!

■水泳部

①10人②シーズン中、月火木金で2回以上③0円④Enjoyをモットーに、自己ベストを更新できるよう日々練習に励んでいます。奈良教育大学と合同練習をしているので友達2倍、先輩2倍!!他大学との交流も盛んです。初心者も経験者もマネージャーも大歓迎☆

■アイススケート部

①7人②月18時～21時③月500円④週一回貸切で、甲南・府大・同女さんと合同部練を行っています。自主練に行けば他大学の人も仲良くなれ、先輩方に指導してもらえます。ジャンプもスピンのみならずできるようになります!!体験入部随時受付中♪

■バスケットボール部

①16人②毎週月・木16時半～19時、土9時～12時③毎年5,000円+登録料3,000円④バスケットが大好きという方、大歓迎です。時に楽しく、時に厳しく私達と一緒にバスケットを楽しみましょう。プレイヤーはもちろん、マネージャーも大歓迎です。

■スキー部

①10人②シーズンオフは週2回、シーズン中は白馬五竜で合宿と居候、よませスキー場で大会。③初年度無料、2回生からは年1万円。④白銀の世界を滑り抜ける爽快感は、一度経験するとやみつきに!!初心者大歓迎!!私たちと一緒にスキー馬鹿になっちゃおう☆

■弓道部

①15人②毎週火・木曜16:30～、土曜9:30～③毎月1,000円④弓道は、老若男女問わず楽しむことができるスポーツです。形の美しさ、矢を放つ時の心地良い緊張感、格別のもので。初心者でも段位取得が可能です。興味のある方は、弓道場まで！

■剣道部

①12人②月・土第二体育館、木第一体育館③月1,000円④私達剣道部は、週3回稽古に励んでいます。経験者はもちろん、初心者でも大歓迎です！大学から始めた人は卒業までに二段をとれます。私達と一緒に剣道部で、さわやかで充実した学生生活を送りましょう!!



■古美術研究会

①32人②週1回MT、月1回遠足、年1回合宿・部誌「飛天」発行③未定④関西を中心に、奈良や京都の寺社仏閣・お祭り・年中行事を見学しに行きます。特に堅苦しいこともなくゆったりとした活動です。興味のある方は是非気軽に参加してみてください。

■茶道部

①35人②火曜昼休みミーティング、木曜お稽古。10月に秋茶会③3,000円程度④毎週学内大和にて3人の先生方に教えて頂いています。大学から始めた部員も多く、初心者の方も気軽に参加できます。少しでも茶道に興味のある方はぜひいらしてください。大歓迎です。

■写真部

①5人②個人での撮影活動(暗室は自由に使用可)月に数回行うミーティングで各自の作品を見せ合う、写真展など③前後期各1,000円④写真が好きな方、ぜひいらしてください。そして写真を焼く素晴らしさを体験しましょう!あなたの写真ライフ、始めてみませんか?

■書道部

①18人②毎週月曜日学館3階和室③前・後期各5,000円程度④主に学祭での書展、その他文部科学省認定の書写検定を行っています。自由に作品を作ることもできます。毎回先生が来てくださり、指導を受けられます。HPできました☆
http://www.geocities.jp/nwu_shodo/

■造型Lab.

①11人②週1~3回の学内活動③月500円④デッサンで基礎固めをしながら、家具・オブジェ等、1人ではできないモノづくりをします。月に1回、学外へ工芸体験や見学にも行きます。何か造りたくて仕方がないという方はぜひいらしてください☆

■演劇部 劇団いちご大福

①6人②毎週水・金曜日③公演ごとに④劇団いちご大福では、あらゆる人材を募集しています。演出、音響、照明、役者がしたい方から、工作や絵を描くこと、片付けが好きな方まで…。興味のある方は、学館3階和室まで来てみてください。やりたい事が見つかるはずですよ。

■華道部「花こみち」

①25人②月3回程度月曜日17時~中集会室③お稽古代1回1,600円④部員のほとんどが初心者ですが、先生が優しく一から指導してください。部の雰囲気も和気あいあいとしていて、楽しく活動しています。体験もできるので気軽に見学に来てください☆

■競技かるた部

①8人②毎週月・火・木16:30~③年間1,000円④競技かるたとは小倉百人一首100枚の内50枚を使って一対一でする競技です。一見難しそうですがとても面白い奥の深い競技です。皆で仲良くマイペースに練習に励んでします。興味のある方は気軽に和室へ遊びに来てくださいね!

■キリスト者学生会

①5人②現在毎週火曜の14時40分から活動していますが、毎学期の始めに都合のいい時間を話し合っ決めて決めているので、意見を出してくれば変更することが可能です。③無料④キリスト教・聖書に興味のある方、クリスチャンの方、どなたでも結構ですでお気軽に!!



■モダンダンス部

①16人②毎週月・金16:30~第二体育館③月1,000円④創作ダンス、ジャズダンスを軸に様々なダンスに取りこんでいます!!プロのレッスンも受けられますよ☆公演会・学祭などイベントも盛りだくさん(^^)楽しい大学生活になること間違いなし!!初心者大歓迎です♪♪

■ラクロス部

①24人②月・火・木16:30~、土9:00~③毎月1,000円④ラクロスは、大学に入って何か始めたいという方におすすめです。部員はみんな仲良しで、かつ練習は真剣。最高の大学生活になるでしょう。是非いろいろな体験・イベントに参加してみてください☆

■陸上部

①23人②月・水・金③なし④陸上にどんなイメージを持っていますか?走ることが好きな方、健康のためという方、試合で勝ちたい方、どんな方でも大歓迎です!!自分のペースで練習できますよ。一度見学に来てみてください。世界陸上ならぬ奈女大陸上を楽しみませんか?(笑)

■バドミントン部

①18人②月・水は16時半から、土は13時から③月1,000円④部員はみんな仲が良く、リーグ昇格を目標に自分たちで練習を工夫しながら元気に活動しています。部には経験者も未経験者もあり、お互いを刺激し合えるよい環境です。一度体育館へお越しください♪

■バレーボール部

①10人②火・金・土第一体育館③月1,000円④春と秋に開催されるリーグ戦に向けて、日々練習に励んでいます。みんなでボールを繋ぐ楽しさを味わってみませんか?経験者はもちろん、初心者の方も大歓迎!是非練習を見に来てくださいね☆お待ちしています!

■ハンドボール部

①31人②毎週火・金16:30~第一体育館③毎月500円④部員の半分以上が初心者!みんなで教え合っ仲良く練習しています。「ハンドボールってどんなスポーツ?」という方、もちろん経験者の方、どなたも大歓迎です!ぜひ一度、練習を見に来てくださいね☆

■舞踊部

①23人②毎週月・水・木16:30~③月300円④クラシックバレエを基礎にジャズダンス・宝塚など様々なジャンルを楽しく踊ります♪初心者大歓迎!部員皆が仲良しで、いつも笑顔が溢れています。気軽に体験入部に来てください!照明・音響・衣装スタッフ也大募集!!

■ボディフィットネス部

①12人②毎週火・木・金の放課後③ヨガマット3,000円のみ④2年前から活動を始めました。健康的で美しい体づくりのために、ヨガやピラティスをやっています。歩き方講座もやっています。参加できる曜日だけ参加もOK☆ぜひ見学に来てください(*^v^*)

文化系

■E.S.S

①44人②全体活動は月、木の放課後と火、金の昼休み③入部時1,500円、年間4,500円④英語でスピーチやドラマやディスカッションやディベートをすることを通して、英語力の向上を目指しています。他学年・他大学と交流する機会も多く、人間的に成長もできます☆

■Jazzy Club

①31人②火・木音楽棟にて③入部費1,000円+前後期各2,000円④Jazzのスタンダードから、Jazzy的な曲(スカバラ、椎名林檎等)、ボサノバなど色々な曲を皆で楽しく演奏しています。経験者・未経験者問わず、歌いたい・楽器をやりたい人は是非来てくださいね♪

■吹奏楽部

①11人②火・金18:00~20:00③月500円④昨年やつと部として成立したばかりなのでまだ人数も少ないですが、今後は活動の場をさらに広げていく予定です☆ジャズや管楽にも興味あるけど、やっぱり吹奏楽がしたい!!という人集まれっ♪
http://www.geocities.jp/nwu_brass

■箏曲部「飛鳥会」

①22人②ミニコンサート(春)定期演奏会(秋)③1ヶ月750円④毎週木・金曜日先生にお稽古をつけて頂いています。初伝・中伝・奥伝とお免状も頂けます。また、2回生からは三味線も習えます。5月には講堂でミニコンサートを開くので、是非いらしてください。

■能楽部 観世会

①12人②毎週火・木16:30~③月2,000円④伝統芸能の能楽を実践するクラブです。仕舞・謡などを、プロの能楽師のご指導のもとで練習しています。部員はみんな仲よして楽しく活動しています。古都奈良で伝統芸能に触れる貴重な体験をしてみませんか?

■piano-forte

①40人②週1回ミーティング、恋都祭での出店、定期演奏会③前後期各3,000円④冷暖房完備の練習室があり、自由にピアノを弾くことができます。ぜひミーティングへ遊びにきてください。
http://www.geocities.jp/pianoforte_narajo/

音楽系

■みどり組

①19人②週1のミーティングと活動方針に基づいて月1または季節毎に自分達で活動内容を企画します。③活動時必要に応じて徴収。少なめです。④身のまわりの自然とふれあって楽しめることを企画しています。

■わかたけ会

①13人②火(+金)曜日の昼休み、月1回プレイ③交通費のみ④京都府八幡市に住む障害を持った小学生と遊んでいます。内2回は、市内の作業所で働く方達とも交流します。企画・運営が好きな方、ボランティアに興味がある方、人脈を広げたい方、お待ちしております!!

■教育問題研究会

①10人②週2回の例会、長期休暇(春・夏休み)中の合宿③月500円④名前から難しそうと思うかもしれませんが、皆で楽しく話合っています。昨年は、沖縄戦集団自決の「革命」記述を教科書から削除した問題について、その背景などを調べました。興味ある人はぜひ!

■社会科学研究会 葦の会

①10人②水・木16:30~③前・後期1,000円④私たちは毎年1つの研究テーマを決めて、みんなで和気あいあいと研究を進めています。今年は地球温暖化の問題をどう解決していくべきかを研究してきました。授業とは全く違うおもしろさ満載のサークルです。

■恋都祭実行委員会

①21人②月・金曜の昼ミーティング③なし④恋都祭実行委員会、通称コジツは、奈良女最大にして最強のイベント・恋都祭を盛り上げ、成功させるために日々猛進しております。時に激しく、時に楽しく、時に真剣に!面白いメンバー勢揃い!是非遊びに来てくださいね!!!

■天文部

①22人②毎週火曜昼休みのミーティング③年1,000円④火曜日昼休みには学館3階でミーティングをしています。主な活動は夏休みの合宿と、学園祭でのプラネタリウムです。他大学との交流もあります。兼部も可能なので、星や神話の好きな方は是非来てみてください!

■点訳部

①4人②週1③なし④活動日は皆の都合にあわせて決めます。普段はのんびり点字の練習や盲人会の方と手紙のやり取りをし、年に1回部誌も発行しています。夏休みには片道交通費のみで静岡合宿に行けます。初心者・兼部・途中入部OK☆ぜひ一度遊びに来てください。

■美術部

①11人②月曜昼休みにミーティング③なし④基本的には個人での制作活動が中心ですが、皆で美術館や博物館に出かけたりもします。描くのが好き・作るのが好きという人、また見るのが好きという人も大歓迎。お待ちしております。
<http://lax.kumogakure.com/>

■文芸部

①23人②月一回部誌発行③なし④自分の書いた文章を部誌に載せて色んな人に読んでもらいませんか?短編・連載・詩・レビューなどジャンルは自由です。お待ちしております!(是非HPIにも遊びに来てください!)
<http://voices.huruike.com/>

■漫画研究会

①50人②火・金曜16:30~③入会金1,000円、前後期各1,000円④主な活動は年4回の部誌発行、学園祭でのイベント開催です。普段は学館「大和」で漫画やアニメ・ゲーム等について皆で楽しく語り合っています。興味のある方は気軽に遊びに来てください。

「廣岡奨学金」について

廣岡奨学金は、本学卒業生 故 廣岡タメ久殿(奈良女子高等師範学校理科昭和4年卒業)のご遺志による寄附金を基金とし、本学の学部学生で学業・人物ともに優秀であり、経済的理由により著しく修学が困難な者に奨学金を給付し、将来有望な人材を育成することを目的として設けられたもので、現在8名の学生がこの奨学金を受給しています。

この奨学金の募集は、2回生以上の学部学生を対象に毎年4月に行われます。詳しくは4月初旬に掲示によりお知らせします。

日本学生支援機構奨学金について

奨学金には地方公共団体が取り扱っている奨学金など各種ありますが、日本学生支援機構の奨学金制度は国の機関が取り扱っているものです。日本学生支援機構の奨学金には第一種(無利息)及び第二種(利息付)奨学金の二種類があります。

4月に新年度の奨学生の募集(定期)を行う予定です。また、家計急変による緊急及び応急採用もあります。その他、「在学届」の提出など、日本学生支援機構の諸手続きについても、全て学生生活課の掲示板(図書館東側)によりお知らせすることになっています。募集期間や提出期限等がありますから、自分にとって不利益にならないよう、見逃すこと無く情報を得てください。

学生相談室から

●学生相談室は、あなたのマインドスペースです。

学業や進路の不安、日常生活で困ったこと、対人関係など、さまざまな心配事について一緒に考えましょう。話を聞いてもらうだけでも、落ち着くこともあります。相談室はあなたの話にじっくり耳を傾けます。そのことで解決の糸口が見つかるかもしれません。内容に応じて適切な人や機関を紹介することもできます。

●開室日及び開室時間

月曜日～金曜日 午前10時～午後5時
夏期休業期間中は月曜と木曜のみ開室
8月第3週と第4週、12月27日～1月5日、
入学試験日(前期・後期)は閉室します。
上記以外で閉室する場合は、構内掲示板や相談室前にその旨を掲示することにより、お知らせします。
学生相談室の場所は大会会館3階です。
TEL.0742-20-3925 Eメール soudan@cc.nara-wu.ac.jp

●スタッフ

■相談受付

金 文子 (月曜日・水曜日・金曜日)
岩井涼子 (火曜日・木曜日)

■カウンセラー

皆藤靖子 (臨床心理士)
竹村百代 (臨床心理士)

■相談員

奥村和美 (教員)
新出尚之 (教員)
井上裕康 (教員)

第49回佐保会奨学金授与式

去る12月12日(水)に第49回佐保会奨学金授与式が佐保会館生駒ホールで行われ、14名に賞状並びに奨学金が授与されました。

佐保会奨学金は、本学卒業生を組織された社団法人佐保会が、昭和34年に母校の創立50周年記念事業の一環として募金した基金により設けられました。

なお、平成6年には、本学卒業生 故 溝上泰子殿(奈良女子高等師範学校家事科昭和2年卒業)のご遺志により、新たに「東南アジア留学生」を対象とした区分も設けられています。

<今回授与された14名>

文 学	部 言語文化学科	4回生	山田 沙 弥
文 学	部 人間行動科学科	3回生	鍋 嶋 美 沙
理 学	部 数 学 科	3回生	加藤万莉絵
理 学	部 情 報 科 学 科	4回生	石田しのぶ
生 活 環 境 学 部	食 物 栄 養 学 科	3回生	松 田 彩 子
生 活 環 境 学 部	人 間 環 境 学 科	4回生	菅 岡 千 晴
人間文化研究科 博士前期課程	国際社会文化学専攻	2回生	徐 倩
人間文化研究科 博士前期課程	人間行動科学専攻	2回生	泉 奏 良
人間文化研究科 博士前期課程	生 物 科 学 専 攻	2回生	田 草 川 真 理
人間文化研究科 博士前期課程	情 報 科 学 専 攻	2回生	當 麻 英 梨 子
人間文化研究科 博士前期課程	生 活 環 境 学 専 攻	2回生	河 野 友 美
人間文化研究科 博士前期課程	人 間 環 境 学 専 攻	2回生	井 上 彩 香
人間文化研究科 博士後期課程	比 較 文 化 学 専 攻	1回生	近 藤 萌 美
人間文化研究科 博士後期課程	共 生 自 然 科 学 専 攻	3回生	大 畠 麻 里



川崎佐保会理事長と久米学長を囲んで記念撮影

第14回外国人留学生による日本語スピーチ大会及び学長主催留学生懇親会

平成19年11月8日(木)午後4時30分から、大会会館2階大集会室にて「外国人留学生による日本語スピーチ大会」が開催され、中国・台湾・インドネシアの3カ国から4名の留学生が出場しました。それぞれが、個性豊かなテーマに沿って日頃の日本語学習の成果を發揮し、聴衆に感動を与えていました。

今年は、台湾からの留学生 王珍妮さんが優秀賞に選ばれ、11月20日(火)に行われる奈良地域留学生交流推進会議主催のスピーチ大会に、本学代表として出場していただくことになりました。

スピーチ大会終了後は、大学生協食堂において、学長主催留学生懇親会が開催されました。留学生のほか、日本人学生・教職員・留学生支援団体関係者等が多く参加していただき、たいへん盛会となりました。新入生の紹介のあと、留学生による母国の歌やダンスの披露が始まり、最後は学長・副学長とともに手をとって、輪になって踊る和やかな集いになりました。



スピーチ大会の様子



懇親会で踊りの輪

日本語スピーチ大会出場者名と演題

海 日(中国)『日本の「お宅」から思ったこと』
王 珍妮(台湾)『私の留学生生活 ― 二度目の留学生生活で思うこと』
シモナベンディマリアル ルディア(インドネシア)『日本留学生生活』
朱 曉蘭(中国)『私の国と日本 ― 手を手につなぎ、平和な未来へ』

学生表彰

学生表彰制度による表彰式が、2月8日(金)に行われました。

この制度は、課外活動や社会的活動などで特に顕著な成果を挙げた本学学生の個人又は団体を表彰するもので、今回は次の33名の学生と4団体が久米学長より表彰を受けました。



(個人)

郡 あや (文学部3回生 音楽部)	学生指揮者賞	
第62回関西合唱コンクール		
山本 美和 (理学部2回生 なぎなた部)		
第26回関西学生なぎなた選手権大会 演技競技 (段外の部)	2位	
第58回県民体育大会 なぎなたの部 演技競技成年 (段外の部)	3位	
牛見 友衣子 (理学部1回生 なぎなた部)		
第58回県民体育大会 なぎなたの部 演技競技成年 (段外の部)	3位	
橋爪 麻衣子 (文学部1回生 なぎなた部)		
第23回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技段外の部	2位	
三宅 あゆ実 (理学部2回生 なぎなた部)		
第61回奈良市民体育大会春季大会 なぎなた 演技 大学・一般の部	優勝	
第26回関西学生なぎなた選手権大会 演技競技 (段外の部)	2位	
第23回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技段外の部	3位	
松井 千佳 (生活環境学部2回生 なぎなた部)		
第23回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技段外の部	3位	
青野 唯 (生活環境学部2回生 なぎなた部)		
第26回関西学生なぎなた選手権大会 個人試合 (段外の部)	2位	
第23回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技段外の部	2位	
山本 晶子 (理学部3回生 なぎなた部)		
第26回関西学生なぎなた選手権大会 演技競技 (有段の部)	3位	
西森 千歌 (理学部3回生 なぎなた部)		
第26回関西学生なぎなた選手権大会 演技競技 (有段の部)	3位	
第26回関西学生なぎなた選手権大会 個人試合 (三段の部)	2位	
長田 真弓 (文学部1回生 なぎなた部)		
第61回奈良市民体育大会春季大会 なぎなた試合団体戦中学生以上の部	2位	
第58回県民体育大会 なぎなたの部 演技競技成年 (有段の部)	2位	
第58回県民体育大会 なぎなたの部 試合競技成年 (40才未満)	2位	
第26回関西学生なぎなた選手権大会 個人試合 (初段の部)	2位	
第23回関西学生なぎなた新人戦大会 試合競技有段の部	3位	
松村 麻貴子 (理学部4回生 なぎなた部)		
第58回県民体育大会 なぎなたの部 演技競技成年 (有段の部)	2位	
第58回県民体育大会 なぎなたの部 試合競技成年 (40才未満)	3位	
黒崎 未祐 (人間文化研究科博士前期課程2回生 合気道部)		
第3回合気道大阪武会本部演武大会 女子有段の部	準優勝	
第25回合気道大阪武会本部演武大会 大学生女子段の部	最優秀演武賞	
安井 志帆 (文学部3回生 合気道部)		
第25回合気道大阪武会本部演武大会 大学生女子段の部	最優秀演武賞	
藤井 千晴 (理学部3回生 合気道部)		
第27回関西学生合気道競技大会演武競技 女子対武器の部	3位	
山口 由香 (生活環境学部3回生 合気道部)		
第27回関西学生合気道競技大会演武競技 女子対武器の部	3位	
寺澤 絵美子 (文学部2回生 合気道部)		
第3回合気道大阪武会本部演武大会 女子有段の部	準優勝	

今西 千妃路 (文学部2回生 合気道部)		
第3回合気道大阪武会本部演武大会 女子有級の部	優勝	
第25回合気道大阪武会本部演武大会 女子上級の部	最優秀演武賞	
第27回関西学生合気道新人競技大会演武競技 女子対武器の部	3位	
西 晃江 (理学部2回生 合気道部)		
第3回合気道大阪武会本部演武大会 女子有級の部	優勝	
小川 遥 (理学部2回生 合気道部)		
第3回合気道大阪武会本部演武大会 女子有級の部	3位	
井手 法慧 (生活環境学部2回生 合気道部)		
第3回合気道大阪武会本部演武大会 女子有級の部	3位	
第25回合気道大阪武会本部演武大会 女子上級の部	最優秀演武賞	
第27回関西学生合気道新人競技大会演武競技 女子対武器の部	3位	
三浦 泰保 (文学部1回生 合気道部)		
第25回合気道大阪武会本部演武大会 女子初級の部	会長奨励賞	
中 彩子 (文学部1回生 合気道部)		
第25回合気道大阪武会本部演武大会 女子初級の部	最優秀演武賞	
山崎 麻貴 (理学部1回生 合気道部)		
第25回合気道大阪武会本部演武大会 女子初級の部	会長奨励賞	
佐藤 恵依子 (理学部1回生 合気道部)		
第25回合気道大阪武会本部演武大会 女子初級の部	最優秀演武賞	
佐々木 麻希 (理学部1回生 合気道部)		
第25回合気道大阪武会本部演武大会 女子初級の部	優秀演武賞	
世古口 歩華 (生活環境学部1回生 合気道部)		
第25回合気道大阪武会本部演武大会 女子初級の部	優秀演武賞	
浅田 理恵 (理学部1回生 水泳部)		
第45回近畿地区国立大学体育大会 女子50M自由形	3位	
青木 真衣 (理学部1回生 水泳部)		
平成19年度 第58回関西国公立大学選手権水泳競技大会		
第44回関西女子国公立大学選手権水泳競技大会		
兼第54回全国国公立大学選手権水泳競技大会関西支部予選会		
女子100M自由形	3位	
女子200M自由形	3位	
第45回近畿地区国立大学体育大会 女子200M自由形	3位	
坂井 美日 (文学部3回生 弓道部)		
第61回奈良市民体育大会春季大会 弓道一般女子遠的個人	2位	
杉山 政英 (文学部2回生 弓道部)		
第61回奈良市民体育大会春季大会 弓道一般女子近的	3位	
船橋 里沙子 (理学部2回生 弓道部)		
第61回奈良市民体育大会春季大会 弓道一般女子近的	3位	
亀谷 有香 (文学部2回生 弓道部)		
第61回奈良市民体育大会春季大会 弓道一般女子近的	3位	
石井 瞳 (文学部1回生 弓道部)		
第20回奈良県大学選手権大会女子個人	2位	
(団体)		
硬式テニス部		
第45回近畿地区国立大学体育大会 硬式テニス 女子の部	優勝	
卓球部		
第45回近畿地区国立大学体育大会 卓球 女子の部	準優勝	
音楽部		
第62回関西合唱コンクール 大学A部門	金賞	
なぎなた部		
第26回関西学生なぎなた選手権大会 団体試合	2位	
第23回関西学生なぎなた新人戦大会 リズムなぎなた公開演技	優勝	

